

高波と大雪及び風雪に伴う農作物等の被害防止について

井笠農業普及指導センター

気象庁の発表（1月8日）によると、日本付近は10日にかけて山地を中心に大雪となるおそれがあります。特に9日から10日にかけては、この冬一番の強い寒気が流れ込む見込みであり、大雪に対する警戒が必要とされ、ビニールハウス等の施設や農作物等への影響が懸念される所です。

このため、今後、最新の気象情報に御留意いただき、令和6年12月9日付け、季節情報No.3を参考に各地域で適切な技術指導をお願いします。

なお、作業者の安全確保を最優先に二次災害の防止を徹底するよう、併せて注意喚起をお願いいたします。

高波と大雪及び風雪に関する中国地方気象情報 第2号

(2025年01月08日05時21分 広島地方気象台発表)

西日本は、冬型の気圧配置となっており、中国地方の上空約1500メートルには、氷点下9度以下の強い寒気が流れ込んでいます。9日から10日にかけてはさらに強い氷点下12度以下の寒気が流れ込み冬型の気圧配置が強まる見込みです。

中国地方では、10日にかけて山地を中心に大雪となる見込みです。雪雲が現在の予想以上に発達した場合には、警報級の大雪となる可能性があります。平地でも積雪となる所があるでしょう。

農作物の冬季管理と低温・降雪対策について（季節情報No.3）

<https://www.pref.okayama.jp/site/22/948197.html>